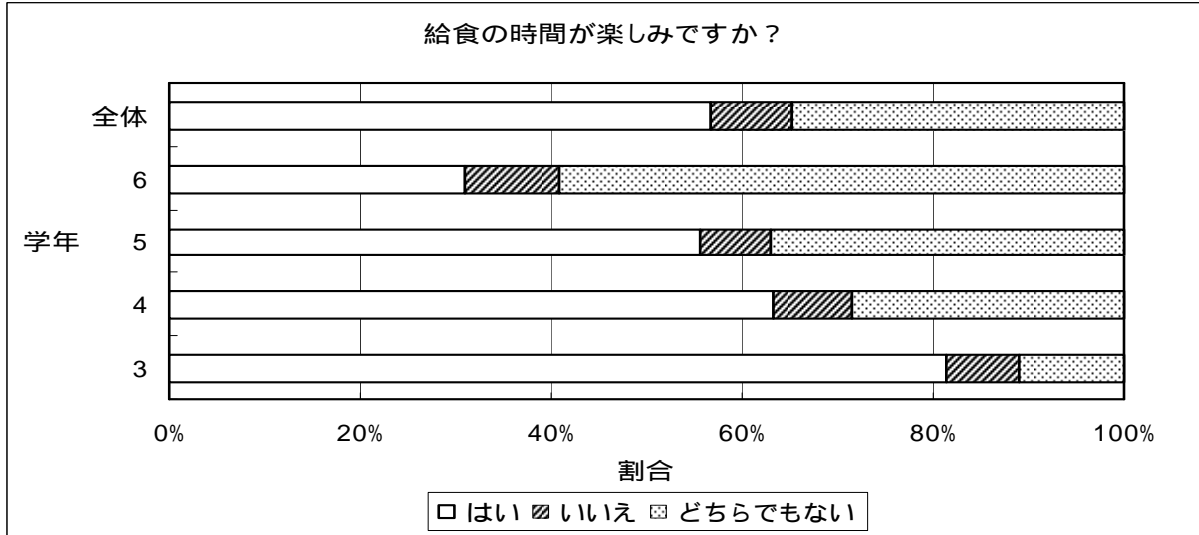


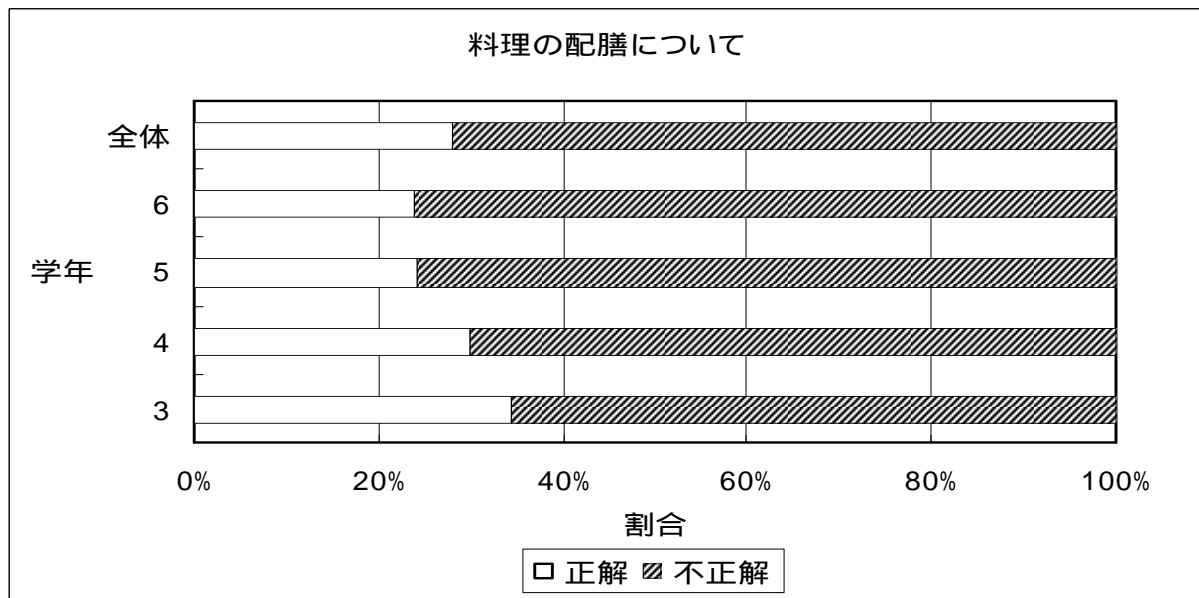
食に関するアンケート結果（児童用）

アンケート実施日 平成20年1月28日（月）～31日（木）

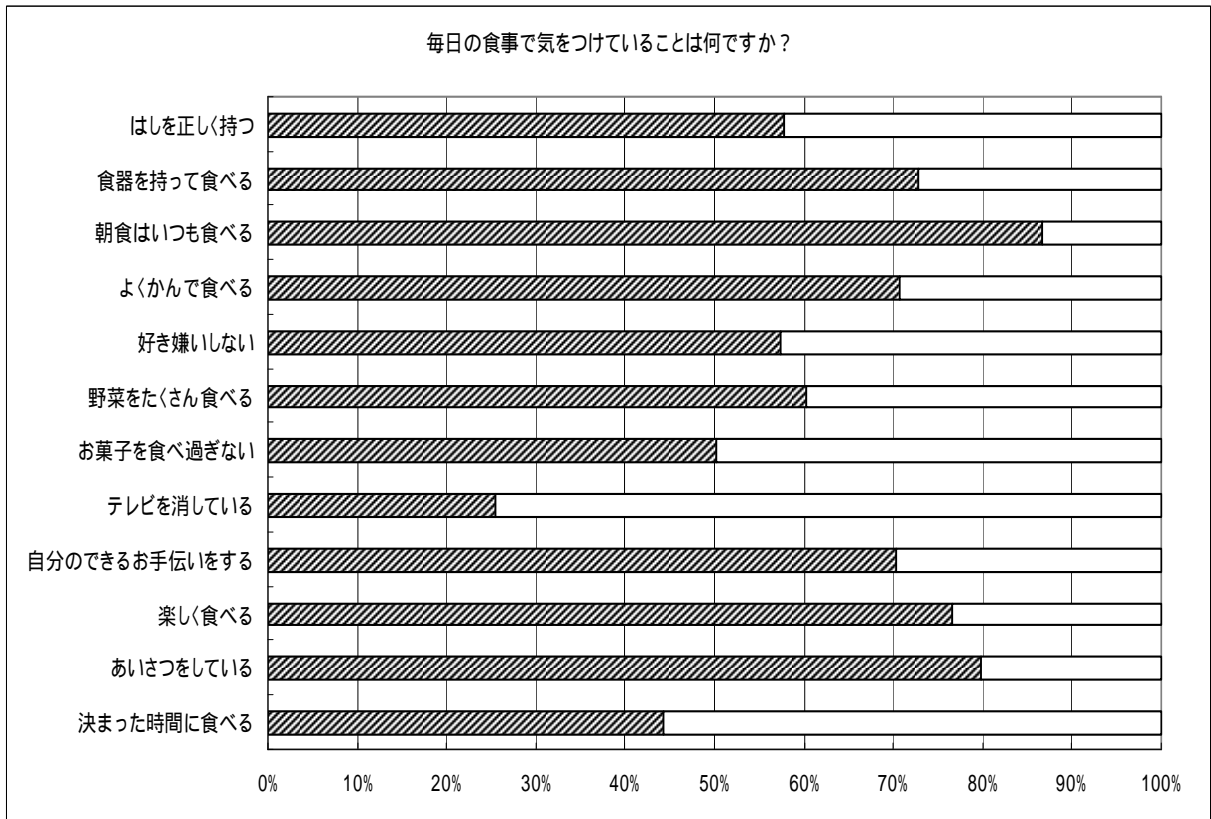
対象 神山小学校 3年生～6年生 239人（100%回収）



学年によって差はあるが、全体では57%の児童が、給食の時間が楽しみと答えている。本来給食の時間は児童にとって、友達と食事ができる楽しい場・時間である。45分間の限られた時間内で楽しい雰囲気作りや給食への関心を持たせる工夫をしていきたい。



ごはん、みそ汁、焼き魚、おひたしの献立を配膳する質問に対して、正解は全体の28%だった。日常の食生活において学校・家庭でも教わる機会も少ないためか、配膳について知らない児童が多かった。食器の並べ方、食事のマナーなど日本の食文化として伝えいく必要がある。



ほとんどの項目において、半数以上の割合で自分なりに毎日の食事をする上で気をつけていることがわかる。「決まった時間に食べる」の割合が半数以下であることから、時間的に不規則な生活習慣が伺える。継続して生活習慣の見直しや改善を図っていきたい。

今後、できていない内容について、家庭と連携をとりながら食に関する指導の中に取り入れていきたい。

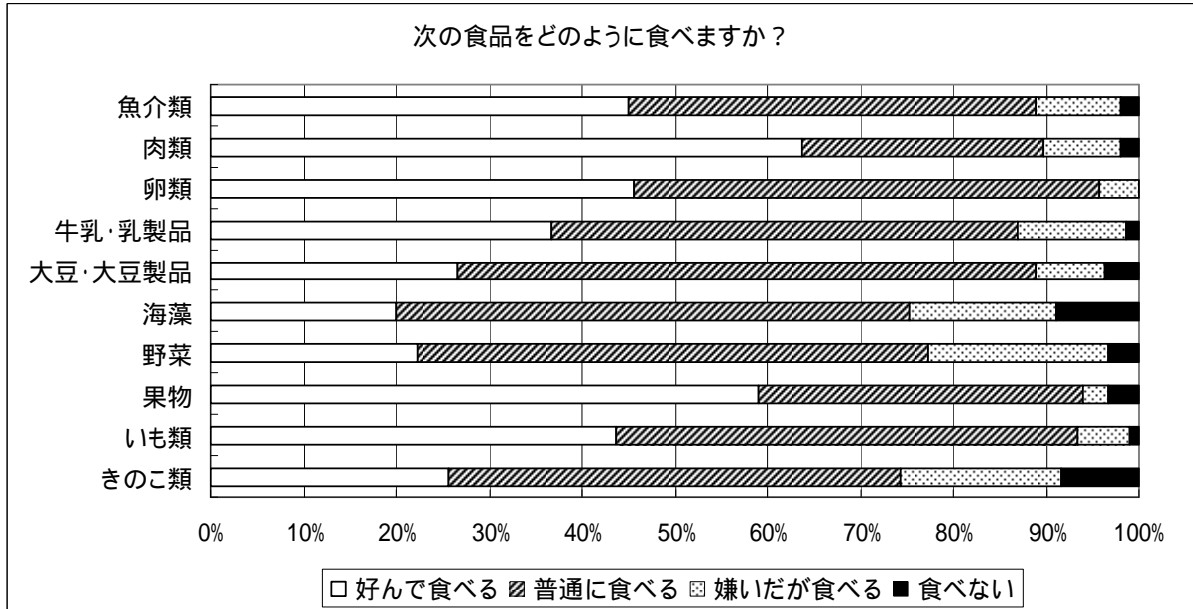
「食べる」という行為は、健康な体を維持する重要な営みである。児童が、自分の体は自分で管理し生涯を通じて健康で過ごすために、食に関する基本的な知識や意欲を、身に付けさせていく必要がある。



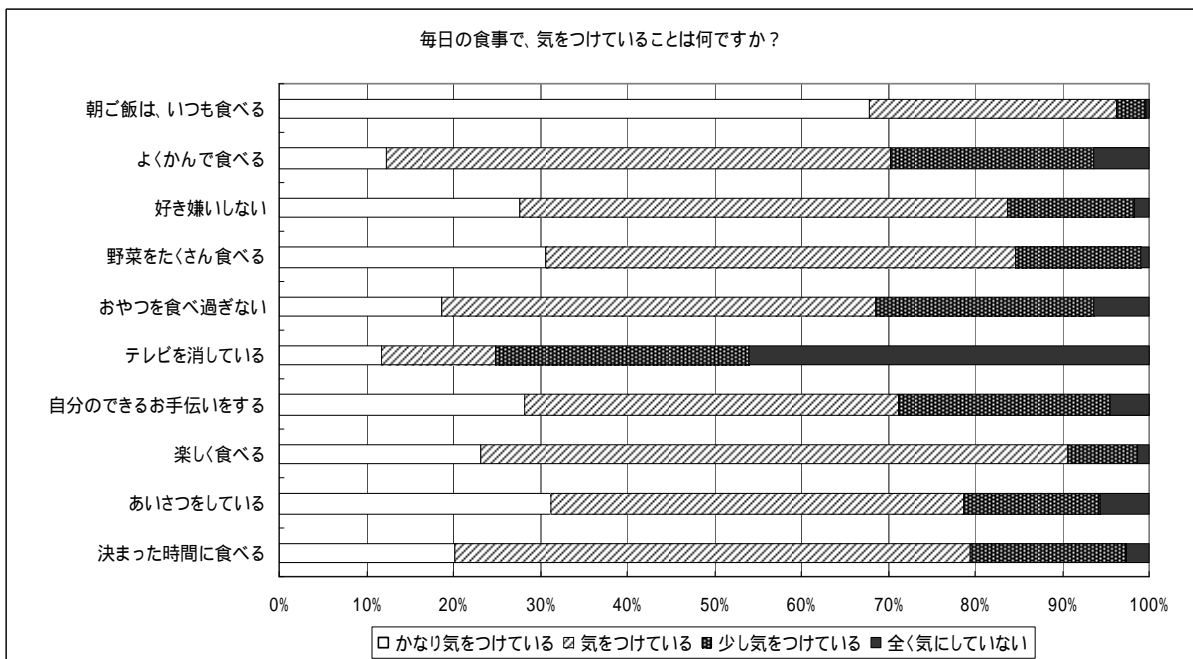
食に関するアンケート結果（保護者用）

アンケート実施日 平成20年1月28日（月）～31日（木）

対象 神山小学校 全家庭 249人（85.5%回収）



家庭で好んで食べる食品は「肉類」が最も多く、「果物」「卵類」「魚類」「芋類」と続いている。「海藻」「野菜」「きのこ類」は“嫌いだが食べる”と答えられた保護者が多く、家庭で苦手なものでも食べられるように気をつけてもらっている様子が伺える。



ほとんどの項目において7～8割を超えており、食事環境や食事内容、食事マナーなど毎日の食事について気をつけられている傾向がみられた。「食事のときはテレビを消している」の割合が低く、家族の団らんのあり方や食事の仕方について見直す必要がある。